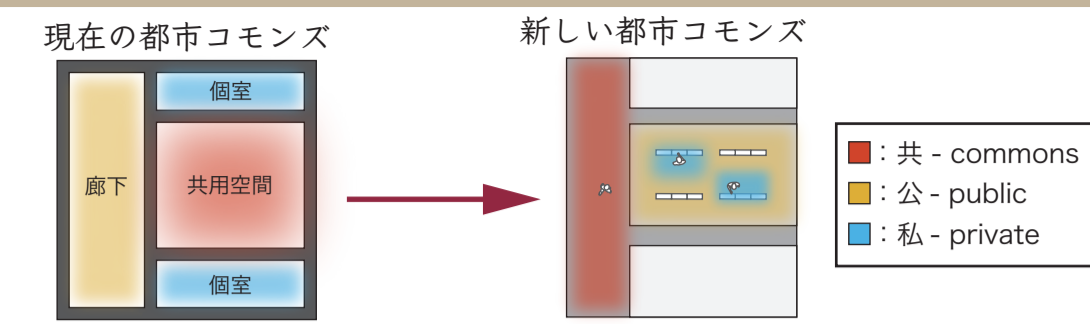
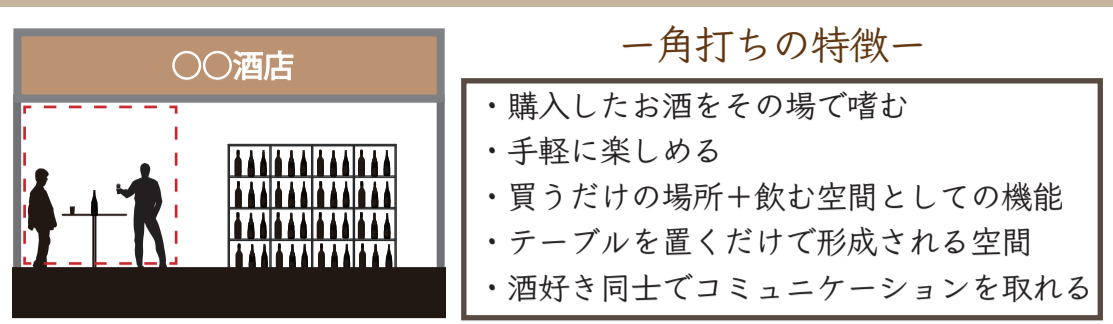


0-1. 都市 commons



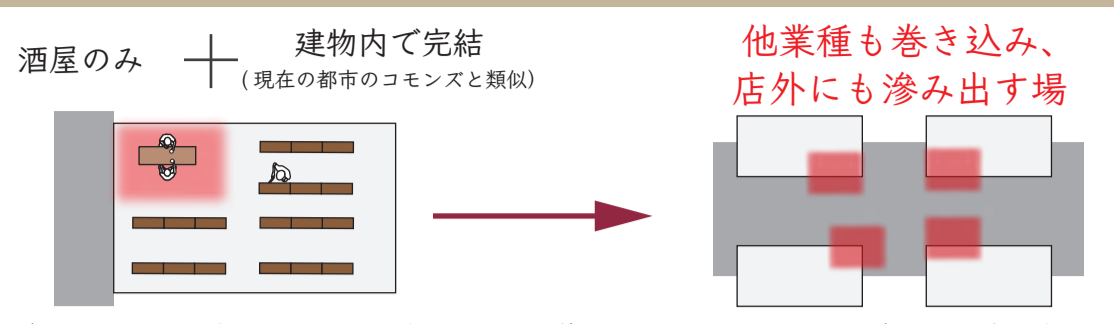
現在の都市 commons は、建築内で完結した存在になってしまっている。この現状を受け、都市の開かれた場所を基準に、多様な業種の店舗を「公」、その店舗内の個人で楽しむ場を「私」、バラバラの店舗を結ぶ道を「共」とした新しい関係性の commons を提案する。

0-2. 「角打ち」- 新たな都市 commons の形 -



酒屋で酒を購入し、家に帰る前に店内で酒を飲む空間を「角打ち」といい、上記のような特徴を持っている。角打ちには店内のテーブルという共有の場で同じ趣味、ある種同じ目的を持った人が自然に集まる魅力を持っている。

0-3. 角打ちの今、そして再編



角打ちは酒屋限定の光景で、現状居酒屋と同義で扱われている。また、角打ちは店舗内で人の動きが完結し、外部に対して閉じられている。これは 0-1 に挙げた現在の都市 commons と類似している。そこで、他業種も含め多数の店舗に外へ張り出すような角打ち空間を設け、それらを結ぶ歩道を commons として発展させることを目指す。

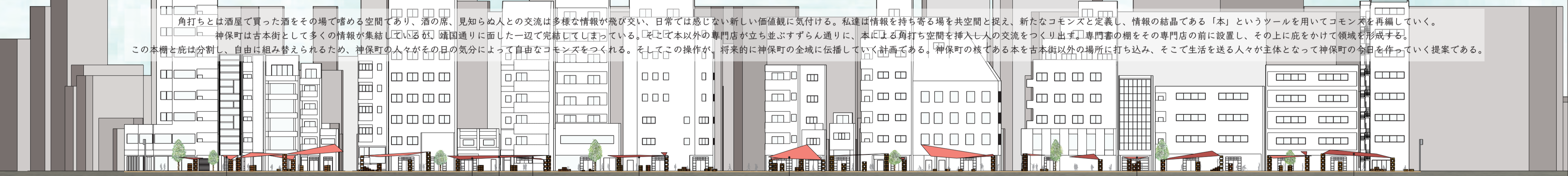
0-4. 情報交流 commons



多様な店舗を結ぶ道は、店舗ごとに違う体験をした人々が同時に存在する。その道ではそれぞれの持つ情報という資源が溢れており、そこに溜まって交流する場所を設けることで個人では得られなかった情報を仲間によって得ることができる。そんな情報が集まるのが期待される場を情報の結晶である「本」というツールを用いてつくる。



「角カク」を打ち込み、「キョウ」を組む

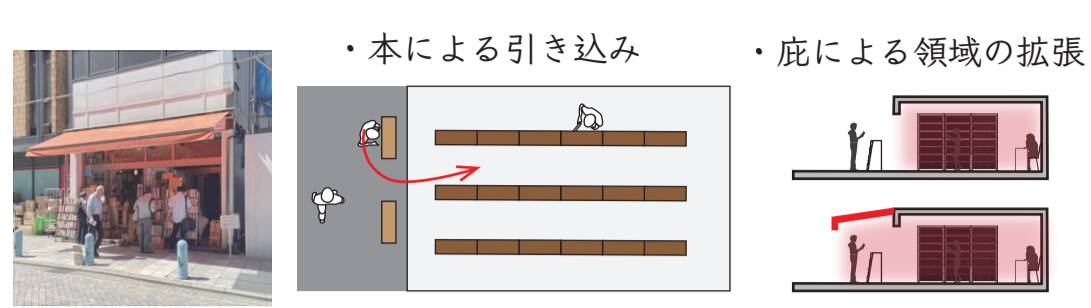


1-1. 本のまち・神保町



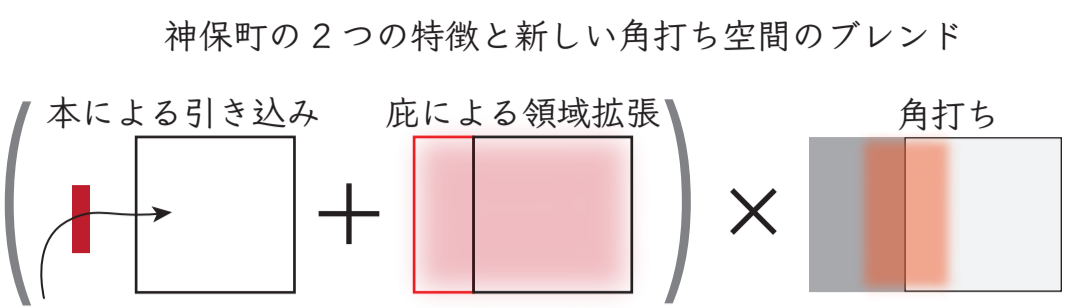
情報交流のツールとなる「本」が集結し、他の街に比べて本が資源として高い価値を持っているまちである東京都千代田区神保町に注目した。神保町には、専門書を扱った書店が多く立ち並んでいて、たくさんの情報が本という形で現れ、その本を求めてたくさんの人が集まっている。

1-2. 書店を構成するエレメント



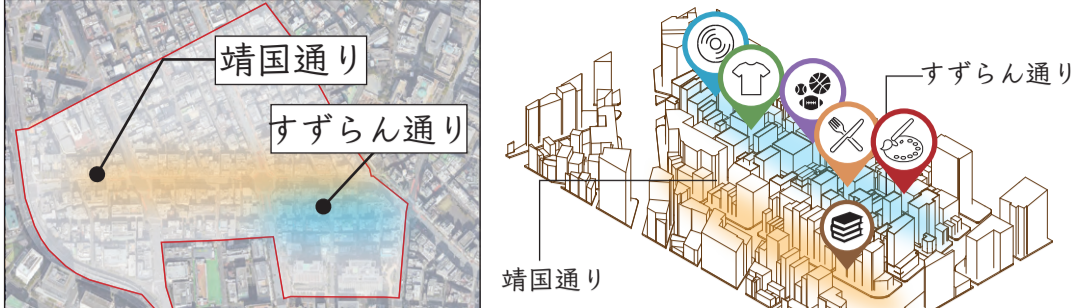
神保町の書店のほとんどが店先の歩道に本棚や本を入れた段ボールを置いている。通行人はその本を手にとって立ち読みし、そこから店内へ引き込まれるという動きが見てとれた。また、歩道へ庇を伸ばしている店舗もあるが、この庇は店舗内の領域を外に拡張する効果を持っている。この2つが神保町の書店を構成する要素である。

1-3. 神保町 × 角打ち



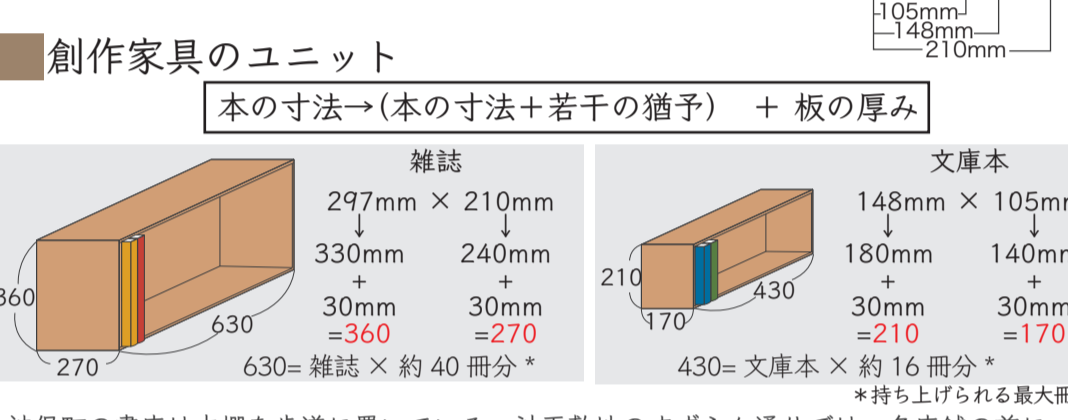
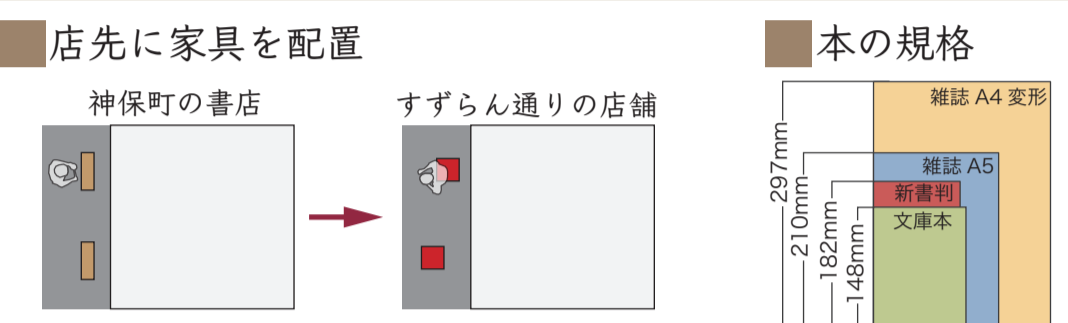
本による引き込み、庇による領域拡張という神保町の書店の2つの特徴と、現状の閉じた角打ちではなく外にしみ出すような新しい角打ち空間をブレンドすることで、庇によって拡張された領域にその店舗ごとのアクティビティが表出し、そこで情報交流が生まれる。その情報交流の場はその店舗の業種に関連する本というツールを置くことで整えられる。

1-4. 神保町すずらん通り

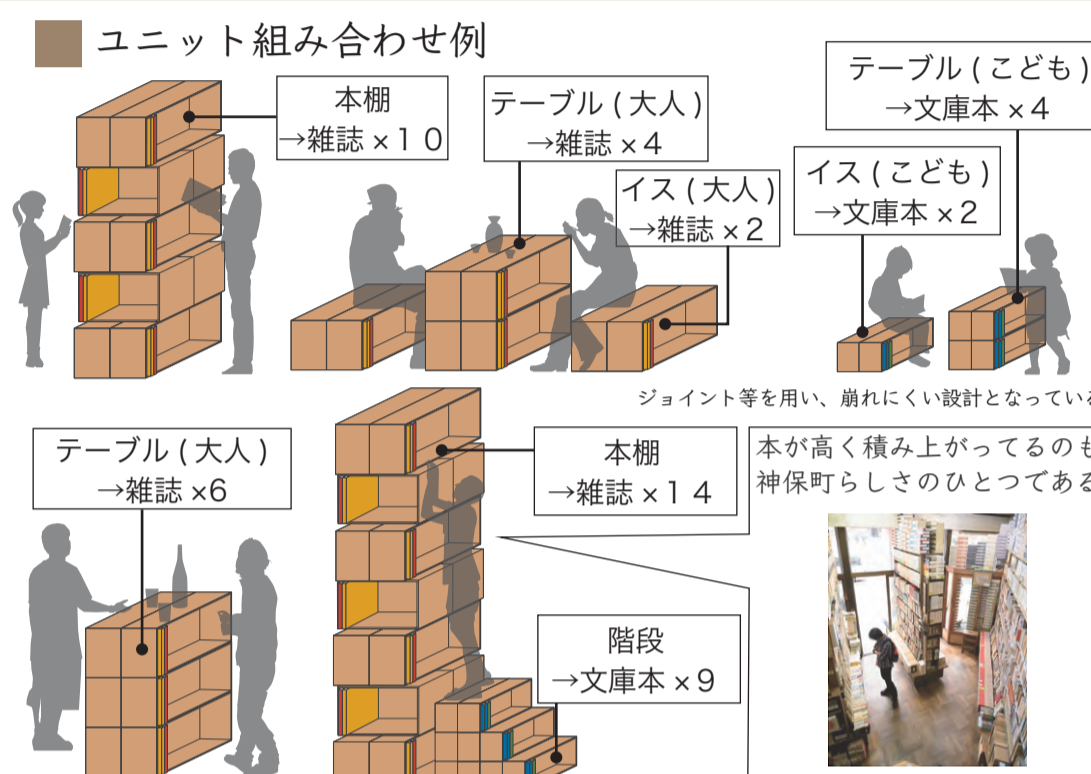


靖国通りから南側に一本はずれた通りである「すずらん通り」。様々なジャンルの店舗が並び、人の通りは多いものの神保町らしさは薄れ、歩道が動線としての機能のみでとどまっている。このすずらん通りを具体的な計画敷地とし操作を行なっていく。

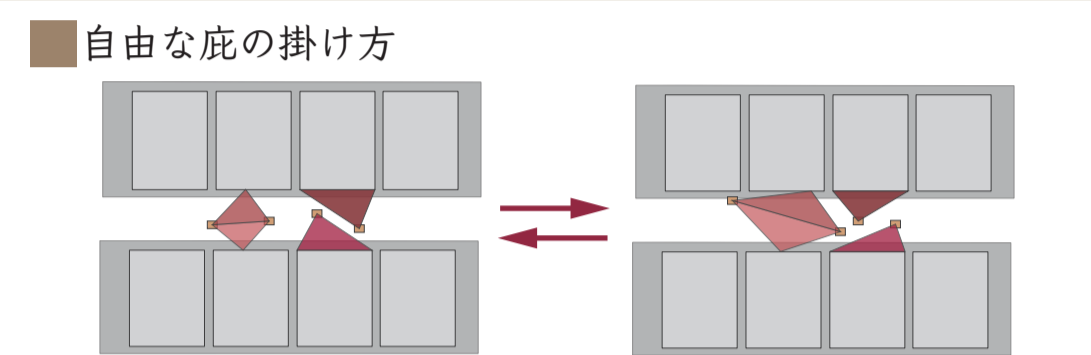
2-1. 本のスケールを用いた創作家具



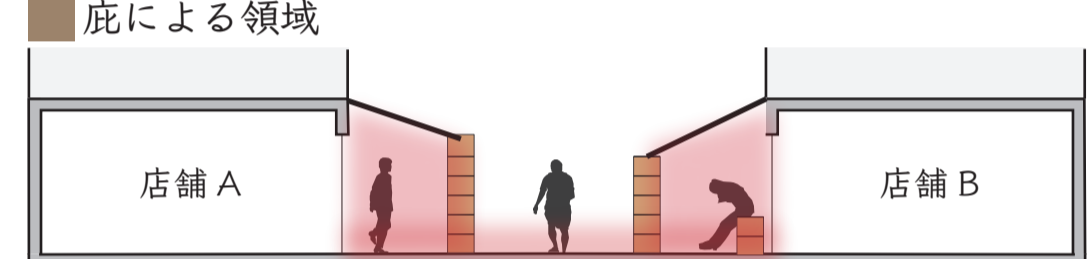
2-2. ユニットの組み合わせ方、つかわれ方



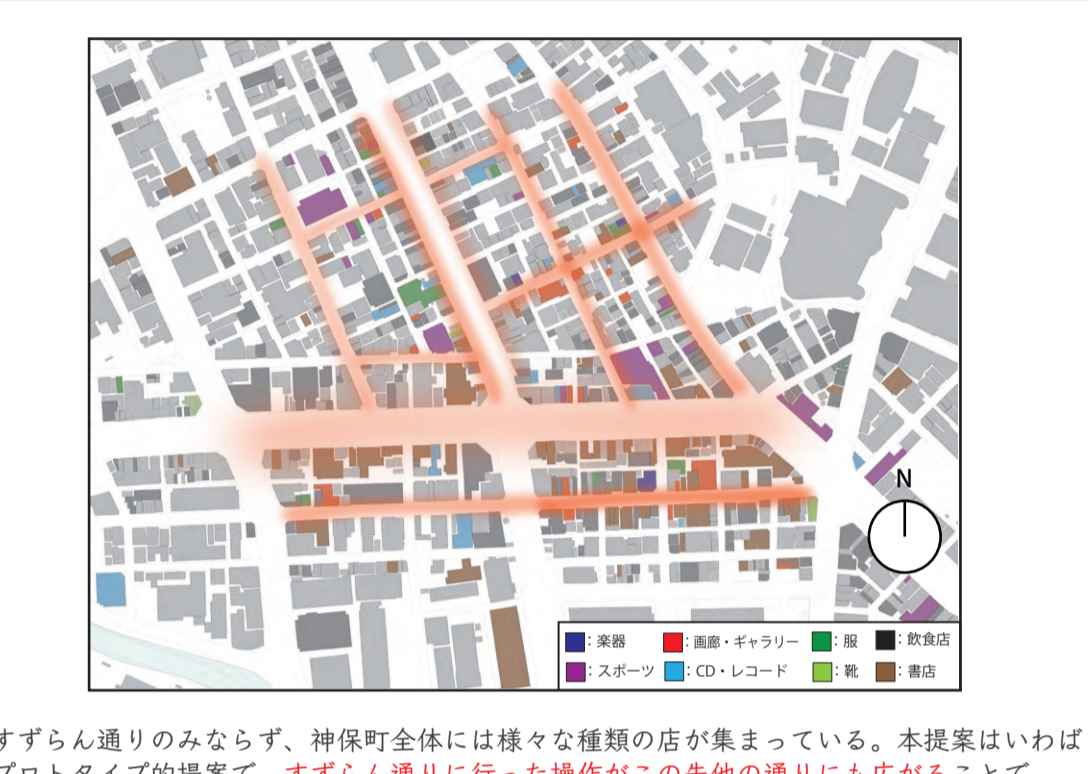
3. 庇により変化するコモンズ領域



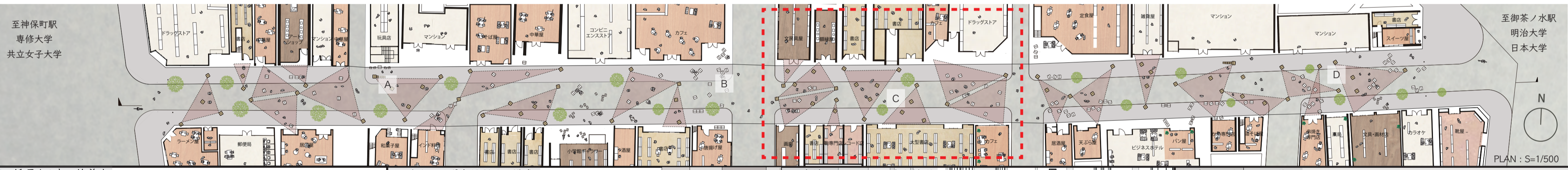
各店舗ファサードと歩道に配置した任意の家具の中から3点を結び、伸縮性のある材質の膜状の庇をかける。この庇も店舗側の人が自分でかける。自由に動かせる庇により領域の形は一定ではなく、ときには近隣店舗と混ざり合うような共有の領域にもなる。



4. 未来図-[本]で広がる情報ネットワーク



すずらん通りのみならず、神保町全体には様々な種類の店が集まっている。本提案はいわばプロトタイプ的提案で、すずらん通りに行った操作がこの先の通りにも広がることで、本のまち神保町で本による情報ネットワークがより一層張り巡らせられ、神保町らしさがさらに増大し、新しい都市コモンズが充実しより魅力的なまちになることが期待される。



5. 来るたびに姿を変える神保町

すずらん通りには多種多様な店舗が立ち並んでいるが、それぞれは独立した店舗であるため、営業時間や定休日は店舗によって異なる。庇がかからない時間、家具が置かれぬ時間がバラバラであるため、時間帯によって通りの様子が変化していく。ここでは、1日の中での変化と、1週間の中での変化の2種類の時間軸での移り変わりの例を表す。

